本朝一斉にゴルジョア新聞に依って報導された東海道副支配人浜中辰吉氏の責任自殺事件と本争議団との干係に就き甚敷誤報ありたる事を遺憾とし吾々は茲に夫等一切の誤報の責任者たる新聞社を弾劾し本事件の眞相を明記し本争議団の立場を明にするものである　吾々が十八日当局会改善の件外五ヶ条の待遇改善の歎願書を携へて店主に面会を求めた処再々理由なくして拒絶された浜中氏は事件を飛常に憂慮されて「諸君が斗争を目的とせずして眞に円満なる解決を望むならば諸君等の要求が不当でない限り一身を犠牲にしても解決に尽力する」と云はれた　そして店主との其後の交渉の場合にも氏は常に吾々の立場を擁護し交渉決裂の当日は痛くその結果を憂ひ自分は出来る限り努力したが事ここに至っては万止むを得ない　後は諸君等が出来得る限り自重して円満な解決をしてほしい」との言葉を以て寄宿舎に引上げる吾々争議団員とは其終相別れて了ったのである　濱中氏自殺当時の眞相に干し、ある新聞氏の如きは氏は当日争議団本部に赴き調停を申込で拒絶されたとあるも夫等は事実無根にして氏が争議団本部を訪れたる事実は絶対にないのである　畢竟するにかゝる不幸なる事件を引起したと云ふことは店主側が如何にこの争議に対して不誠意であったと云ふことが判る　依って本争議団は浜中氏が従来絶えず吾々に対して取って来た態度に感謝すると今日に店主側の不誠意を諸同じ反省を促す鉋迫斗争を継続するものである

右声明す

一九二八　五、二一

東海堂争議団